

科目名	社会教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30時間	担当者	安元・瀧口・村上舞		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	教養を深めるための経験を通し、社会人として必要とされるマナーや知識を身に付ける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		社会人として必要なマナーや作法の習得	
				○		社会人として必要な知識の習得	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職情報伝達・企業研究の仕方・目標設定				特に無し	
	2	1、2年生交流会				特に無し	
	3	学科行事 ゆふいんの森号体験乗車				特に無し	
	4	就職情報伝達・面接対策(1)CA対策				特に無し	
	5	就職情報伝達・面接対策(2)GS対策				特に無し	
	6	就職情報伝達・面接対策(3)鉄道・その他対策				特に無し	
	7	就職情報伝達・面接対策(4)GD対策				特に無し	
	8	就職情報伝達・面接対策(5)個人面接対策				特に無し	
	9	社会人基礎力講座(1)相互理解を深める				特に無し	
	10	社会人基礎力講座(2)ロジカルシンキングを身に付ける				特に無し	
	11	社会人基礎力講座(3)クリティカルシンキングを身に付ける				特に無し	
	12	社会人基礎力講座(4)クリエイティブシンキングを身に付ける				特に無し	
	13	社会人基礎力講座(5)総合力を身に付ける				特に無し	
	14	社会人基礎力講座(6)自己理解をまとめる				特に無し	
15	前期の振り返り				特に無し		
評価方法	(1)レポートを数回実施する。(2)出席率以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業への取り組み方				◎		90%
	レポート				◎		10%
履修上の注意	6回以上欠席で単位未取得						

科目名	手話						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15	担当者	平嶋 光希		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年A・B・C						
授業概要	手話入門編 視覚的にものをとらえる工夫や様々な手段を使って、聴覚障がい者に伝え合う事を学ぶ 手話の基本を身に着ける(指文字・挨拶・数字 等)						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識	
	○					聴覚障がい者の生活	
		○				手話入門	
テキスト・教材 参考図書	手話を学ぼう手話で話そう 手話技能検定(5・6・7級)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	1, 2, 3講座 伝え合う。名前の紹介					
	2	1, 2, 3講座 伝え合う。名前の紹介					
	3	1, 2, 3講座 伝え合う。名前の紹介					
	4	4講座 家族の紹介					
	5	5講座 数を使って					
	6	6講座 趣味について					
	7	7講座 仕事について					
	8	8講座 住所の紹介					
	9	9講座 1～8講座まとめ 自己紹介					
	10	手話検定テキスト 第1章					
	11	手話検定テキスト 第2章					
	12	手話検定テキスト 第3章					
	13	手話検定テキスト まとめ					
	14	自己紹介(実技)					
	15	手話検定(5級)試験					
評価方法	(1)授業の中で小テストを10回実施する。(筆記・実技) (2)レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)7回	◎	○				60%
	小テスト(実技)3回		◎				30%
	レポート				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。前期は検定試験受験のみ(検定結果は後期に反映する)						

科目名	SPI II						
科目名(英)	Preparation for Synthetic Personality Inventory II						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	合力・松藤・瀧口・宮崎		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	航空業界への就職試験では、多くの企業でテストセンターやWEBテスト、ペーパーテスト等の適性検査が実施されている。その際、制限時間内に正確な解答を導き出す力が必要である。この授業では、1年次に学んだ解き方を活用し、応用問題に取り組む。また、近年多く実施されているWEBテストでの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組み、正確に且つ迅速に解答できる力を養う。						
授業形式	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	◎				SPI非言語分野頻出テーマの基本的な解き方を活用し、解答を導くことができる。	
		◎				四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
		○		○		SPI非言語分野頻出テーマの解き方を他者に対して説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	7日のできる！SPI必勝トレーニング、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト			1年次のテキストで復習しておくこと。		
	2	仕事算、損益算			事前にテキストの当該範囲を読んでおくこと。		
	3	分割払い、料金割引			前回の授業の復習しておくこと。		
	4	料金精算、速度(基本)			前回の授業の復習しておくこと。		
	5	旅人算			前回の授業の復習しておくこと。		
	6	資料解釈			前回の授業の復習しておくこと。		
	7	前半まとめ			前回の授業の復習しておくこと。		
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト			前半範囲の復習をし、テストに備えること。		
	9	表の読み取り、長文読み取り			事前にテキストの当該範囲を読んでおくこと。		
	10	順列・組み合わせ、確率			前回の授業の復習しておくこと。		
	11	割合、集合			前回の授業の復習しておくこと。		
	12	推論			前回の授業の復習しておくこと。		
	13	実践テスト ※実践テストは、レベルに合わせて取り組む。			前回の授業の復習しておくこと。		
	14	実践テスト ※実践テストは、レベルに合わせて取り組む。			前回の授業の復習しておくこと。		
15	前期まとめ			前回の授業の復習しておくこと。			
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。(3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。 (4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				45%
	出席回数・宿題・確認テスト 等	○			◎		5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	AMADEUS II						
科目名(英)	AMADEUS II						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	航空地上支援サービス 会社において国際線旅		
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約・発券について学び、検定においてAir-Expert(中級)合格を目指す。中級では運賃や運賃規則に関する知識を学び、テキストを参照せずに検定問題に対応できるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			Specialist(初級)の検定問題を、何も見ずに一人で実施することができる。		
	○				新しいエントリを問題によって使い分け、応用させることができる。		
	○				運賃ルールの調べ方や読み取り方を理解し、解答のポイントを説明することができる。		
	○	○			Air-Expert(中級)の検定問題を、何も見ずに一人で60分以内に実施することができる。		
○	○			Air-Expert(中級)に合格することができる。			
テキスト・教材 参考図書	テキスト:アマデウスユーザーガイド予約、アマデウスユーザーガイド発券・運賃、クイックガイド(早見表) オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	初級振り返り(情報検索、タイムテーブル、空席照会)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	2	初級振り返り(基本PNR作成、乗継PNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	3	初級振り返り(小児・幼児付きPNR作成・MEAL・SEAT・FFP)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	4	初級確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	5	情報検索中級編(フライトインフォメーション、時差、GGPCA)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	6	情報検索確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	7	PNR作成演習(PNRの分割、フライト変更)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	8	PNR作成演習(マイルージ情報からのPNR作成)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	9	PNR作成演習(セキュリティ設定、QUE送信)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	10	PNR作成演習(PNRのコピー、リマークス入力)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	11	PNR作成確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	12	PNR作成からの最安値検索、運賃照会			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	13	運賃表の照会と読み取り			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	14	運賃規則の確認(ルーティング)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	15	運賃規則の確認(ストップオーバー)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	16	運賃規則の確認(日付変更、キャンセル)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	17	運賃規則の確認(事前購入)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	18	運賃規則の確認(その他のルール)			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	19	運賃表読み取り、運賃規則確認テスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	20	情報検索、PNR作成(分割、マイルージ、コピー)復習			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	21	検定模擬試験①、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	22	検定模擬試験①解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	23	検定模擬試験②、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	24	検定模擬試験②解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	25	検定模擬試験③、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	26	検定模擬試験③解説、やり直し			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	27	検定模擬試験④、採点			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	28	定期試験			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	29	検定振り返り			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
	30	航空業界関連授業			授業の復習を必ず行い、次回授業に臨むこと。		
評価方法	(1)授業内で定期試験を実施する。(2)検定を受験する。(3)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○	◎	○		50%
	検定取得状況	◎	○	◎	○		45%
	小テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	Air Expertはクイックガイド持込不可の為、エントリを覚えること。確認テストの際はテキストは見ずに行う。						

科目名 Subject Name	English Conversation II A						
科目名(英) Same as Above	English Conversation II A						
単位数 Credits	2	時間数 Hours	30	担当者 Instructor	Eoghan Mac Coille, Keith Kelly, Ian Dagnall, Jason Heliopoulos, Andy Highcock, Scott Newby		
実施年度 Year	2019	実施時期 Semester	前期	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area			
対象学科・学年 Class	Airline 2						
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式 Class Format	講義: Lecture △	演習: Practice ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○					Raise students' English proficiency	
	○					Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book 2						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents			授業外学修指示 Preparation and Review		
	1	Get to know your teacher			none		
	2	7.1 Travel Partners			Preview lesson materials and review previous lesson		
	3	7.2 The Longest Bus Ride			Preview lesson materials and review previous lesson		
	4	7.3 Can you tell me the way?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	5	7.4 Hong Kong (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson		
	6	7.5 Lookback / Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson		
	7	8.1 Having a good time			Preview lesson materials and review previous lesson		
	8	8.2 What a difference			Preview lesson materials and review previous lesson		
	9	8.3 What do you recommend?			Preview lesson materials and review previous lesson		
	10	8.4 Changing Trends (needs TV/DVD)			Preview lesson materials and review previous lesson		
	11	8.5 Lookback / Teacher's lesson			Preview lesson materials and review previous lesson		
	12	9.1 City Bikes			Preview lesson materials and review previous lesson		
	13	9.2 Free Ride			Preview lesson materials and review previous lesson		
	14	Speaking Test Practice			Preview lesson materials and review previous lesson		
15	Speaking Test			Review previous lesson material			
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report						
	発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 5 classes.						

科目名	サービス介助演習						
科目名(英)	Service assistance						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	玉置 万理子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で全ての人々が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできごとや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形式	講義:	△	演習:	実習:	実技:	○ ※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を学び、高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、サポートできるようになる。	
			○			肢体不自由者の状態に応じた車椅子介助ができるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通して介助のしかたを工夫して提供できるようになる。	
	○					聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助のしかたを工夫できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	2	肢体不自由者 一 肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと	
	3	肢体不自由者 一 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	4	肢体不自由者 一 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	5	肢体不自由者 一 車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	6	肢体不自由者 一 車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと	
	7	高齢者介助 一 高齢者体験				本日の授業内容を復習しておくこと	
	8	高齢者介助 一 高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	9	高齢者介助 一 高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと	
	10	視覚障がい者 一 視覚障がい者体験(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと	
	11	視覚障がい者 一 視覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
	12	視覚障がい者 一 視覚障がい者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと	
	13	聴覚障がい者 一 聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと	
	14	聴覚障がい者 一 聴覚障がい者介助演習				本日の授業内容を復習しておくこと	
15	総まとめ・レポート課題						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	ホスピタリティサービス						
科目名(英)	Hospitality Service						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	古田時枝		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	接客サービス業で求められる資質、適性を十分に理解し、ホスピタリティを習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホスピタリティとは何かを理解する。	
		○				敬語の種類を認識し、違いを説明できる。	
				○		多様なお客様に対して、それぞれに応じた対応ができる。	
	○					気配り、心配りとは何かを説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	図解版ホスピタリティの教科書						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ホスピタリティ 概念の理解					
	2	step1・基本マナーを身に付ける-第一印象がきめて					
	3	step1・基本マナーを身に付ける-言葉遣い・作法					
	4	敬語を身に付ける					
	5	step2・気配り お客様に満足を一コミュニケーション能力を向上させる					
	6	step2・気配り お客様に満足を一きめ細かな対応をするには					
	7	step3・心配り お客様に感動を一パーソナルなサービスとは					
	8	まとめ テスト スピーチ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	①授業の中で小テストを3回実施する。②発表の場を数回設ける。③レポートを実施 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				
	レポート	○	○				
	発表			○	○		
履修上の注意							

科目名	韓国語ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧愛連		
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン・2年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				日常会話レベルの韓国語を習得できる。	
	○	○				韓国語能力試験5級の問題を正答できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期学習分総復習 その1					
	2	前期学習分総復習 その2 (前回分 小テスト)					
	3	4課 あります、います ありません、いませんか					
	4	4課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク					
	5	5課 します しますか (4課 小テスト)					
	6	5課 続き 練習問題 ポキャブラリーバンク					
	7	6課 します しますか(別表現) (5課 小テスト)					
	8	6課 続き 練習問題					
	9	7課 する等の動詞、形容詞語尾変化 敬語作りー1					
	10	7課 続き 練習問題 単語徹底 ポキャブラリーバンク					
	11	8課 敬語作りー2 (とても大事、念入りに)					
	12	8課 続き 練習問題 例外変化徹底					
	13	7, 8課まとめ 単語、2通り変化練習 テストー1					
	14	7, 8課 総まとめ テストー2					
15	前期学習分総まとめ 期末テスト対策						
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 定期試験を実施する。 成績評価基準 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	業界地理						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	航空業界をはじめ、交通・運輸関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、日本からの渡航者が多い国々の 観光地理についての知識を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア・アジア主要国の位置と首都が把握できている。	
	○					上記主要国の主要都市・主要空港が把握できている。	
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					上記主要国の観光資源を1か国につき10以上挙げることができる。	
			○			各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・成美堂出版「今がわかる 時代がわかる 世界地図」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	観光資源とは、世界遺産について			授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索してイメージをつかむこと。		
	2	ヨーロッパの観光資源① — イタリア			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	3	ヨーロッパの観光資源② — フランス			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	4	ヨーロッパの観光資源③ — スペイン・その他			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	5	アメリカの観光資源① — 北米			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	6	アメリカの観光資源② — 北米・中南米			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	7	オセアニアの観光資源 — オーストラリア			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
	8	アジアの観光資源 — 東南アジア、まとめテスト			授業で出てきた都市・町を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れること。		
評価方法	(1)授業内で配布する国別記入式プリントを定期的に回収し評価する。 (2)まとめテスト(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	まとめテスト	◎	◎				50%
	授業プリント	◎	○		◎		50%
履修上の注意							

科目名	実用英語ⅡA					
科目名(英)	Practical English ⅡA					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	玉川 久美子	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	エアライン科2年					
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格である英検、TOEICの高資格取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。					
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○				目標	
	○				文法、語法、語彙を学び、文章中の情報をもとに構文を理解することができる。	
	○				英語を聴くことに慣れ、意味を聞き取り、特定状況の中で使われるフレーズを学んでいく。	
					ビジネスの背景知識を身につけるためにも日頃から新聞、ニュースに触れることで、知識や一般常識を活用できるようにする。	
テキスト・教材 参考図書	・国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC公式問題集 ・TOEICリーディング問題集 ・TOEICリスニング問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	文章中の情報をもとに構文ポイントを理解—リスニング、語彙、品詞			学んだ問題の見直しをすること。	
	2	構文ポイントの理解—主述の一致、格、時制、態、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	3	構文ポイントの理解—前置詞、接続詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	4	構文ポイントの理解—準動詞(動詞を他の品詞に変えたもの)			学んだ問題の見直しをすること。	
	5	構文ポイントの理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	6	構文ポイントの理解—不定詞、動名詞、分詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	7	構文ポイントの理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	8	構文ポイントの理解—慣用表現、形容詞、副詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	9	構文ポイント理解—語法、構文、比較、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	10	構文ポイントの理解—関係詞、リスニング			学んだ問題の見直しをすること。	
	11	構文ポイントの理解—情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	12	リスニング、長文読解—情報を関連づけての読み取り			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	13	リスニング、長文読解—情報を見つけて意味を理解できる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	14	リスニング、長文読解—同義語を理解して言い換え表現ができる			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	15	分野別問題答練—Part1, 2, 5, 6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	16	分野別問題答練—Part1, 2, 5, 6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	17	分野別問題答練—Part3, 5, 6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	18	分野別問題答練—Part3, 7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	19	分野別問題答練—Part3, 7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	20	分野別問題答練—Part4, 7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	21	分野別問題答練—Part4, 7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	22	分野別問題答練—Part1, 2, 5, 6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	23	分野別問題答練—Part1, 2, 5, 6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	24	分野別問題答練—Part3, 5, 6			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	25	分野別問題答練—Part3, 7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	26	分野別問題答練—Part3, 7			意味不明の語彙は事前に調べ、学んだ問題の見直しをすること。	
	27	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	28	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	29	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	30	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	31	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	32	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	33	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	34	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	35	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	36	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	37	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	38	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	39	分野別問題弱点補強—解法ポイントの復習			意味不明の語彙は事前に調べておくこと。	
	40	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	41	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	42	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	43	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
	44	総合模試対策—限られた時間範囲で問題を解く			見直しを必ずし、解き直しをおこなうこと。	
45	まとめ&質疑応答			確認テスト実施、事前の勉強をしておくこと。		
評価方法	(1)授業の中で語彙テストを実施する。(2)課題を与える。(3)中間テストを実施する。(4)期末試験(筆記)を実施する。以上の観点、割合から総合評価する。成績評価基準は内規に準ずる。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
		語彙テスト	○			
		中間テスト	○	○		
		期末試験	○	○		
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。					

科目名	実用英語ⅡA						
科目名(英)	Practical English ⅡA						
単位数	6	時間数	90時間	担当者	山下満里		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年生						
授業概要	エアライン業界にて必要な英語力の基盤を作る。具体的な方法としてTOEICを受験する。語彙力をつけるため毎回の単語のテストを行う。基本の文法を習得し読解力をつける。TOEIC対策としては語彙の増強、パートごとの対策。TOEICの英語をビジネスの現場で使える英語とする。TOEIC 500 を確実に超えるための基礎力をつける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○	○		目標		
	○				語彙力の増強		
	○				Listening力		
	○				基本の文法		
テキスト・教材 参考図書	・一般財団法人 国際コミュニケーション協会 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4 ・桐原書店 TOEIC L&R テスト 書き込みドリル【全パート入門編】スコア500 ・朝日新聞出版 TOEIC L&R TEST 出る特急金のフレーズ						
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	公式問題集 4 Test 1 Listening Part					
	2	公式問題集 4 Test 1 Readinging Part			毎回単語のテスト実施		
3	Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
4	Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
5	Listening Part 1	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
6	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
7	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
8	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
9	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
10	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
11	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
12	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
13	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
14	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
15	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
16	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
17	Listening Part 2	Reading Part 5	Part 7	毎回単語のテスト実施			
18	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施			
19	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施			
20	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施			
21	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施			
22	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施			
23	Listening Part 3	Reading Part 6	Part 7	毎回単語のテスト実施			
24	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施			
25	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施			
26	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施			
27	Listening Part 4	Reading Part 7	Double Passage	毎回単語のテスト実施			
28	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施			
29	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施			
30	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施			
31	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施			
32	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施			
33	Listening Part 4	Reading Part 7	Triple Passage	毎回単語のテスト実施			
34	Listening Part 1	Reading Part 6		毎回単語のテスト実施			
35	Listening Part 2	Reading Part 5		毎回単語のテスト実施			
36	Listening Part 3	Reading Part 7		毎回単語のテスト実施			
37	Listening Part 4	Reading Part 7		毎回単語のテスト実施			
38	公式問題集 3 Test 1	Listening		毎回単語のテスト実施			
39	公式問題集 3 Test 1	Reading		毎回単語のテスト実施			
40	公式問題集 3 Test 2	Listening		毎回単語のテスト実施			
41	公式問題集 3 Test 2	Reading		毎回単語のテスト実施			
42	公式問題集 4 Test 1	Listening		毎回単語のテスト実施			
43	公式問題集 4 Test 1	Reading		毎回単語のテスト実施			
44	公式問題集 4 Test 2	Listening		毎回単語のテスト実施			
45	公式問題集 4 Test 2	Reading		毎回単語のテスト実施			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	前期の欠席回数が15回までは、前期期末試験を受験できる。						

科目名	実用英語ⅡA						
科目名(英)	Practical English ⅡA						
単位数	6	時間数	90時間	担当者	中山久豪		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年生						
授業概要	実用英語検定準2級の取得、TOEIC400点を目標とし、授業を通して英語の基礎を向上させる。 多くの企業が英検有資格者を必要としている現状があり、英語の基礎力を身に付け、英語を仕事として活用出来る人材育成を目標とする。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	目標		
	○				英文法、基本構文の理解、語彙、リスニング力の向上。		
	○				実用英語検定準2級の取得		
	○				航空業界の実務に必要とされる英語力の習得。		
テキスト・教材 参考図書	英検準二級過去問題集、プリント、TOEIC TEST英文法出るとこだけ!、TOEIC公式問題集。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	2	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	3	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	4	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	5	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	6	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	7	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	8	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	9	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	10	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	11	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	12	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	13	模擬試験(リスニング)、英検準二級対策					
	14	模擬試験(筆記)、解説					
	15	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	16	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	17	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	18	英検準二級対策(リスニング、文法、長文読解)					
	19	英検準二級対策(単語テスト、リスニング、文法、長文読解)					
	20	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	21	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	22	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	23	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	24	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	25	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	26	確認テスト					
	27	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	28	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	29	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	30	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	31	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	32	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	33	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	34	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	35	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	36	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	37	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	38	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	39	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	40	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	41	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	42	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	43	TOEIC対策(リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
	44	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)					
45	TOEIC対策(単語テスト、リスニング、短文穴埋め、長文読解)						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
	小テストや授業態度	◎	○		○		5%
履修上の注意	辞書の持参。						

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	英語の基礎となる文法を習得し、航空業界に必要な語学力を身に付ける。 1年次に身に付けた文法の復習を行いながら、2年次は応用力を身に付けることで英検2級の合格を目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					時制を理解し、日本語とは少し異なる時間の捉え方を学ぶことで英文を正しく理解することができる。	
	○					修飾の表現を理解し、英文を詳しく丁寧に相手に伝えることができる。	
	○					様々な表現方法を学び、表現の幅を広げ応用させることができる。	
	○					英検2級を取得することができる。	
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:学研「TOEICテスト書きこみノート文法編」						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	動詞の変形(三単現、進行形、過去形)				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	2	現在形と現在進行形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	3	過去形と現在完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	4	過去進行形と過去完了形				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	5	未来を表す表現				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	6	分詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	7	関係代名詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	8	関係副詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	9	原級・比較級・最上級				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	10	接続詞・前置詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	11	不定詞・動名詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	12	受動態				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	13	仮定法				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	14	疑問詞				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
	15	前期まとめ				復習を必ず行い授業に臨むこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				50%
履修上の注意	各授業の復習をしっかり行うこと。英語辞書を持参すること。						

科目名	総合英語 II A						
科目名(英)	General English II A						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上 正雄		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	英語の仕組みを平易な切り口で説明し、英文法の基礎知識習得を目標とする。検定取得、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成し、品詞確認と英作文に取り組み英語の運用能力を高める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。	
	○	○				5文型を使い分けすることができる。	
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	総合英語フォレストを基にした学習プリント						
科目概要 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	その1 時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	2	その2 完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	3	その2 完了形 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	4	復習 その1 時制・その2 完了形			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	5	その3 助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	6	その3 助動詞 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	7	復習 その3 助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	8	その4 受動態			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	9	その4 受動態 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	10	復習 その4 受動態			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	11	その5 不定詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	12	その5 不定詞 つづき			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	13	復習 その5 不定詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	14	実践問題			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
15	前期の総復習			前回の復習を行って授業に臨むこと			
評価方法	1) 定期試験(筆記)を実施する。 2) 検定を受験する。 3) 確認テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
検定取得状況	◎	○				50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	GCB II						
科目名(英)	Global Citizen Basic II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	安元・瀧口・村上舞		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	GCB I での考え踏まえ、さらに「社会とのつながりの中で自分自身の生きる姿勢」、すなわち“志”について考える。夢を実現するためには「行動する力」が必要となるが、そのためには具体的に言語化してビジョンにし、そのビジョンに強い信念が伴い、自分以外の人や社会・公のことが視野に入ると“志”に近づくという事を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		自ら考える、気づく。積極的に参加(話し合い、発表)する。日常生活で実践する。	
テキスト・教材 参考図書	・グローバルシティズンベーシックII 志の教育(学生用テキスト)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	グローバルシティズンと“志”			振り返りレポートの作成		
	2	自分を取り巻く環境を知る ～世界の中の日本・日本の中の私～			振り返りレポートの作成		
	3	自己を知る			振り返りレポートの作成		
	4	伝える力を学ぶ I ～プレゼンテーション～			振り返りレポートの作成		
	5	伝える力を学ぶ II ～グループコミュニケーション～			振り返りレポートの作成		
	6	先人の志に学ぶ～プロフェッショナルとは～			振り返りレポートの作成		
	7	成功者の考え方に学ぶ～まとめにむけて～			振り返りレポートの作成		
	8	自らの志を言語化する(知行合一の考え方に基づく)			振り返りレポートの作成		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成・発表				◎		100%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。						

科目名	一般教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	航空業界における就職試験問題に対応できる実力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力とSPI問題の解法を理解し、実際の採用試験に解答できる能力の修得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
	○					計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○					英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
	○					歴史に沿って時代の流れを理解し、歴史上の出来事について概要を説明することが出来る	
○					数学の文章問題、四則演算を限られた時間の中で解答することが出来る		
テキスト・教材 参考図書	就職試験これだけ覚える適正検査スピード解法 オリジナルテキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	科目概要説明、第5回実力テスト					
	2	第1回:世界史、英語、SPI:玉手箱・分割払い				第1回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	3	第1回:数学、第2回:社会、SPI:分割払い、料金の割引				第2回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	4	第2回:英語、数学、SPI:割引料金と精算、仕事算				テキストの該当部分復習しておくこと	
	5	第3回:社会、SPI:割合、損益算				第3回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	6	第3回:数学、英語、SPI:損益算、速度算				第4回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	7	第4回:数学、社会、英語、SPI:速度算、集合				第5回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	8	第5回:数学、英語、社会				第6回:国語(1) テキストの該当部分復習しておくこと	
	9	第6回:社会、英語、SPI:集合、推論				第7回:国語(1, 2, 3) テキストの該当部分復習しておくこと	
	10	第7回:社会、英語、数学、SPI:推論				第8回:国語(1, 2, 4) テキストの該当部分復習しておくこと	
	11	第8回:社会、英語、数学、SPI:推論、四則演算				第9回:国語(1, 2) テキストの該当部分復習しておくこと	
	12	第9回:英語、数学、社会、SPI:四則演算、割合				第10回:国語(1) テキストの該当部分復習しておくこと	
	13	第10回:数学、社会、英語				テキストの該当部分復習しておくこと	
	14	第10回:英語、SPI:売買分割、推理、順列・組み合わせ				テキストの該当部分復習しておくこと	
15	まとめ:前期試験範囲振り返りと対策				テキストの該当部分復習しておくこと		
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)授業中の態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○		○		80%
	小テスト	◎	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語ⅡA						
科目名(英)							
単位数	6	時間数	90時間	担当者	江口 美奈子		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年生						
授業概要	国際化が進み、高い英語力が求められる。この授業では、英検2級、TOEIC450点取得を目標とし、解法のポイントをお伝えしながら、目標達成に臨む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				英検2級取得に必要な文法を理解する		
	○				英検2級取得に必要な単語を習得する		
	○				TOEIC450点取得に必要な解法のポイントを理解する		
	○				TOEIC450点取得に必要な単語を理解する		
○				英検2級・TOEIC450点練習問題正答率80%以上取得できる			
テキスト・教材 参考図書	プリント・辞書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レベルチェックテスト					
	2	レベルチェックテスト					
	3	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	4	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	5	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	6	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	7	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	8	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	9	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	10	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	11	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	12	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	13	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	14	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	15	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	16	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	17	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	18	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	19	【英検2級対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	20	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	21	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	22	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	23	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	24	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	25	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	26	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	27	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	28	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	29	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	30	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	31	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	32	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	33	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	34	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	35	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	36	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	37	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	38	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	39	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	40	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	41	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	42	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	43	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	44	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
45	【TOEIC対策】単語テスト・問題演習と解説・リスニング			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと			
評価方法	1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				45%
小テストや授業態度	◎	○		○		5%	
履修上の注意							

科目名	実用英語 II A						
科目名(英)	Practical English II A						
単位数	6	時間数	90時間	担当者	村上 舞		
実施年度	2019	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	1 英文法、基礎構文を理解する 2 英検2級レベルに合格する英語運用能力を身につける 3 TOEIC450点以上のスコアを目指す						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○			目標		
	○	○			英文法を理解することで、英検2級レベルの読解力を身に付ける。		
	○	○			会話、アナウンスの聞き取りをし、英検2級レベルのリスニング力を身に付ける。		
	○	○			基本構文を用いた文章作成をし、英検2級レベルの英作文を書けるようにする。		
○	○			ビジネス英語の基本語彙を身に付け、問題を解くことで450点レベルの読解力を身に付ける。			
○	○			TOEICリスニングの解法を身に付け、TOEIC450点レベルのリスニングの問題が解けるようになる。			
テキスト・教材 参考図書	英検2級過去問題集 TOEICリーディングストラテジー、TOEIC公式問題集など						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	英検2級チェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	2	英文法① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	3	英文法② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	4	英文法③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	5	重要名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	6	重要名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	7	重要動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	8	重要動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	9	重要形容詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	10	重要副詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	11	覚えておきたい接頭語、接尾語 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	12	重要前置詞とフレーズ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	13	重要前置詞とフレーズ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	14	重要前置詞とフレーズ③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	15	重要前置詞とフレーズ④ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	16	不定詞と動名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	17	関係詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	18	ライティング対策① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	19	ライティング対策② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	20	中間テスト			テスト範囲をしっかりと勉強して試験対策を行うこと。		
	21	英検2級振り返り TOEICチェックテスト			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	22	TOEIC対策 品詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	23	TOEIC対策 品詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	24	TOEIC対策 品詞③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	25	TOEIC対策 代名詞 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	26	TOEIC対策 関係代名詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	27	TOEIC対策 関係代名詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	28	TOEIC対策 接続詞、前置詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	29	TOEIC対策 接続詞、前置詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	30	TOEIC対策 動詞① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	31	TOEIC対策 動詞② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	32	TOEIC対策 表、用紙 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	33	TOEIC対策 手紙、Eメール リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	34	TOEIC対策 広告 リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	35	TOEIC対策 ダブルパッケージ① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	36	TOEIC対策 ダブルパッケージ② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	37	TOEIC対策 part5演習① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	38	TOEIC対策 part5演習② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	39	TOEIC対策 part5演習③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	40	TOEIC対策 part6演習① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	41	TOEIC対策 part6演習② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	42	TOEIC対策 part6演習③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	43	TOEIC対策 part7演習① リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
	44	TOEIC対策 part7演習② リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。		
45	TOEIC対策 part7演習③ リスニング			テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。			
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				45%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
発表・作品							
履修上の注意							

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科・2年						
授業概要	英語でのコミュニケーション力をあげ、航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。この授業では、1年次で学んだ基本5文型や品詞に対する理解をさらに深めていく。また句・節を正しく理解し、英語長文の読解の精度を高める。TOEICの分野別アプローチの仕方についても学んでいく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	○				各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。		
	○				TOEIC600点レベルの単語を覚え、品詞・意味を答えることができる。		
		○			基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。		
		○			TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。		
	○			TOEIC500点以上のスコアを取得できる。			
テキスト・教材 参考図書	テキスト:オリジナルプリント 参考図書:旺文社「とってもやさしい英文解釈」、アルク「TOEICに出る英文法出るとこだけ！」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、レベルチェックテスト			英語辞書を準備しておくこと。		
	2	品詞①(4大品詞:名詞、動詞)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	3	品詞②(4大品詞:形容詞、副詞)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	4	品詞③(4大品詞+2 前置詞、接続詞)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	5	品詞のまとめ、TOEICでの活用法			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	6	基本5文型(文の要素と修飾語)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	7	基本5文型(文型の捉え方)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	8	基本5文型のまとめ、TOEICでの活用法			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	9	英文読解の基礎(語・句・節)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	10	不定詞の働き			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	11	関係代名詞の働き			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	12	分詞の働き			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	13	TOEIC問題演習①(Part5、6の品詞問題対策)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
	14	TOEIC問題演習②(Part5、6の文法問題対策)			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。		
15	前期まとめ			必ず復習して、次回の授業に臨むこと。 英語辞書を準備しておくこと。			
評価方法	(1)授業内で、単語テストを40単語×10回分言い、14コマ目にボキャブラリーコンテストを実施する。 (2)定期試験を実施する。 (3)毎回の授業後に課題をだす。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	検定取得状況	◎	○				50%
履修上の注意	英語辞書、プリント用ファイルを準備しておくこと。						

科目名	総合英語ⅡA						
科目名(英)	General EnglishⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	石田 小雪		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	英検定取得、TOEICスコアアップ、会話力向上のための英語の基礎力(語彙力、文法力)を養成する。品詞確認と英作文、英文読解に取り組み英語の運用能力を高める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。	
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。	
	○	○				医療やテクノロジーなど社会性のある英文を理解できる。	
テキスト・教材 参考図書	英文法トレーニングノートα、英文法・作文トレーニングノートα、英文法トレーニングノートβ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション、英作文					
	2	品詞概要、文中での役割			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	3	5文型			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	4	時制			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	5	助動詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	6	接続詞			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	7	不定詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	8	不定詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	9	動名詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	10	動名詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	11	分詞①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	12	分詞②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	13	分詞③			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	14	TOEIC対策 Part2、Part5			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		
	15	前期まとめ			前回までの復習を行って授業に臨むこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC(IP)を実施する。700点以上 100点、600点以上 95点、500点以上 90点、470点以上 85点、470点未満 80点、400点未満 75点とする。 (3)品詞テストを10回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	TOEIC(IPテスト)	◎	○				45%
	品詞テスト	◎	○		○		5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	中国語ⅡA						
科目名(英)	ChineseⅡA						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	王 波		
実施年度	2019年	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科2年						
授業概要	昨年の学びを元に、さらなる日常会話、単語を使い簡単な文法の応用を目指します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○	○			様々な単語を駆使して、簡単な日常会話ができるようになる	
テキスト・教材 参考図書	中国語ははじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	昨年学んだ内容の総復習					
	2	常用動詞の復習				単語をしっかりと覚えよう	
	3	形容詞の復習				単語をしっかりと覚えよう	
	4	大きい数字とお金				繰り返して練習しよう	
	5	“量詞”				各量詞と名詞の組み合わせを覚える	
	6	“想”と“喜欢”				単語を使い文型の理解を深めよう	
	7	“有”の所有文の復習と存在文				単語を使い文型の理解を深めよう	
	8	日付けの言い方				繰り返して練習しよう	
	9	時間の言い方				繰り返して練習しよう	
	10	主+時+動+名の文型				単語を使い文型の理解を深めよう	
	11	文型を使い会話練習					
	12	本文の演習				本文を暗記しよう	
	13	練習問題を解く					
	14	作文:私の一日					
15	口頭試験とテスト範囲復習						
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(口頭試験加味)	○	○	○			100%
履修上の注意							